

栽培技術を高めよう

下呂で
初開催 「龍の瞳」生産者大会

下呂市発祥の米「龍の瞳」(品種名・いのちの志)の岐阜県生産者大会が二十一日、同

市萩原町の野上公民館であった。栽培技術を高めようと初めて開か

に発見した品種。低農薬や無農薬で栽培し、

全国・米食味分析コンクールで昨年まで四年連続金賞を受賞。昨年は流通分だけで約二百四十トが生産された。

大会では今井さんが販売状況や今後は飛騨地域を中心に生産を展



龍の瞳 生産者

開する方針を説明。次いで、龍の瞳を手掛ける農業生産法人まんな

農場(高山市上宝町)取締役の和仁一博さん(右)が

「カルシウムやマグネシウムを豊富に含んだ土作りを

「はどれくらいか」といった質問があった。

大会後には龍の瞳のおにぎりや米麴で作ったみそ汁などが振る舞われ、参加者たちは味わいながら親睦を深めていた。

(山下洋史)